

一生の思い出となるほど貴重な経験だった「沖縄」

川根高等学校2年 久保奈都美さん

column

私にとつて沖縄への修学旅行はとても貴重な経験になりました。その理由は個人的に飛行機に乗るのが初めてだったからだとか沖縄へ行くのが初めてだったからだとか、さまざまありますが、最も貴重だと思ったのはひめゆりの塔資料館の証言員の人から話を聞いたことです。

資料はあっても「生きた証言」というものはもうすぐなくなろうとしている現在、戦争の記憶は風化しつつあります。そう知りながらも私は、沖縄の自然環境について調べようとしたときに、用意された資料のほとんどが戦争関係のものであることに少々閉口しました。そういったことは、今さら掘り返すまでもなく分かっていると思っていたからです。



しかし実際に話を聞いてみて驚きま

した。私は「唯一陸上戦があった沖縄だから、当時の人々は勝てないと分かった戦争の中で、皆絶望したような気持ちで日々を送っていたのだろう」と考えていたのに、どんなにひどい状況でも日本は勝つと思っていたと証言員の方が話されていたからです。

国のための死という美徳の意識が薄れた原因は、看病していた傷兵は最期、「天皇万歳」ではなく、母や父を呼びながら亡くなっていったことに気がついたからだと言われ、さらに驚き、また切ない気持ちになりました。全体の風潮や作られた常識というものの恐ろしさもまた感じられました。

そして一番心に残っているのが「戦争の一番恐ろしいところは人が人であるところなんです」という言葉です。私は戦争で恐ろしいのは武器や敵兵だと思っていたので、これにははっとさせられました。味方の兵隊や今まで仲良くしてきた近所の人たち、ともすると親戚家族までもが人の心を失うことがある、ということは考えが及ばないほど恐ろしいことだと気づかされ、表面だけ無であつたような知識だけで戦争や

沖縄を理解しようとしてはいけないと深く反省させられました。

そうした陰惨な歴史を知ってこそ、そこから67年かけて発展した沖縄独自の文化や復活した自然環境が、さらに尊いものだと思えるのです。実際沖縄を訪れて、旅行社のチラシやテレビCMで目にする美しい写真の数々が何の加工もない自然のものだったのだと気づき、これにもまた感動しました。

修学旅行で、このような貴重な経験をたくさんすることができて本当に幸せでした。今回見たことや聞いたこと、味わったことの全ては、意識するまでもなく「一生の思い出」として人生を豊かにしてくれることと思います。



生きた証言によって戦争の恐ろしさと復興の尊さを知ることができたと言った久保奈都美さん

広報紙に感想をいただきました いつも楽しく読ませていただいています。これからも見応えのある広報かわねほんちょうを期待しています。

お詫びと訂正 広報1月号の特集「約束の道」18ページの山本靖実さんの応援メッセージに「1972年のミュンヘンオリンピックに出場した柿下選手…」という記述がありましたが、正しくは「1976年のモントリオール（カナダ）オリンピックに出場」の誤りでした。確認不足でした。関係される皆さまには大変ご迷惑をおかけし、申し訳ありませんでした。訂正し、お詫び申し上げます。

眼科患者さん無料送迎いたします。

ご近所から、当院まで送迎車にて無料送迎いたします。
ご予約は電話にてお願いします。
(当院に初めて受診される方もご利用いただけます)

島田眼科クリニック

住所：島田市日之出町3-9
島田駅から徒歩1分
☎0547-37-0431
診療時間：午前9時～12時、午後2時～6時
(休診日：水曜日、日曜日、祝日)

1歳になったばかりのお友達を紹介
生まれてくれてありがとう



山口陽大くん

父：順一郎・母：加奈子
ようた1歳の誕生日おめでとう。のんびりマイペースなようた！いつも家の中を明るくしてくれるわが家の太陽だね。これからも、ようたのペースで明るくあったかく、大きく育ってね！

H 23・1・8生 梅高



高畑采瑚ちゃん

父：和弘・母：貴子
采瑚が生まれてあつという間の1年間。にいにたち、ねえねにまざってどんどん知恵をつける姿に感激です。そんな采瑚から幸せいっぱいもらっているよ。これからも、元気にすくすく大きくなってね。

H 23・1・14生 上長尾



中村夕海ちゃん

父：直人・母：美寿々
お誕生日おめでとう。あつという間に1歳だね。こんな笑顔、これからもたくさん見せてね。これからも、中村家のアイドルでいてね♡

H 23・1・11生 千頭



勝山優月ちゃん

父：暁行・母：友子
いつも元気な優月ちゃん！これからも、病気に気を付けて、いつも健康で、元気に大きく育ってください！

H 23・1・26生 下泉



櫻山風季くん

父：光幸・母：靖子
ふうくん、1歳のお誕生日おめでとう！少しずつイタズラになってきて、目が離せなくなってきたけれど、お兄ちゃんたちに負けず、強くたくましく育ってね♡

H 23・1・27生 梅高



上野真侑華ちゃん

父：充俊・母：奈世美
まゆちゃん1歳おめでとう！まゆの笑顔でみんなが和むことができるよ。お姉ちゃんとけんかもあるけど、まゆは本当に強いね。家族みんなであなただちを見守れて幸せ★生まれてくれてありがとう♡


H 23・1・14生 徳山



藤田りかちゃん

父：健吾・母：裕香
りか、一歳の誕生日おめでとう！！その可愛い笑顔はみんなの宝物だよ！これからも、元気いっぱい健やかに成長してね！

H 23・1・22生 地名

みんなの笑顔が、
まを元気にするよ 

1歳を迎えるお子さんのかわいい笑顔を紹介しています。毎月対象となるご家庭に、案内通知を送付しています。

つれづれなるままに
編集後記

広報1月号の特集「約束の道」。近隣市町広報担当者から感想が寄せられました。「朱澄さんのカヌーに対する姿勢や性格を、本人に会ったかのように知ることができました。紙面に登場する人と朱澄さんの間に言葉では表現できないような心の絆を感じました。父親の偉大さ、応援するみんなとの距離の近さ、そんな環境にいる朱澄さんは幸せだろうなって…。いろんな角度から伝わってきました」。この感想に目を通したとき、心が温かくなりました。読む人に「思いが伝わる記事」が書けたのかなあと、素直にうれしくなりました。取材中は多くの人にご迷惑をおかけしました。帰省中の朱澄さんに長時間インタビューさせてもらい、町で偶然会った人たちにも突撃取材してもらいました。面食らった人も多かったのではないのでしょうか。「今こそ、町が一つになって盛り上げよう」そんな気持ちだけで取り組んだ本特集。皆さんの目にはどのように映ったのでしょうか。新山典子さんの言葉にもあったように、私も毎月、たくさんの人に「ありがとう」の言葉を投げかけながらつづいている「川根本町」という名の物語。今日も広報紙に携わっている喜びや幸せをかみしめながら、取材に出かける自分があります。

小笠原聡

after word

Birthday

みんなの広場